

議案 1

平成 27 (2015) 年度 事業報告

1 協議会への加入

(1) 新規加入自治体 (8 自治体)

名寄市 (北海道)、石巻市 (宮城県)、大洗町 (茨城県)、羽村市 (東京都)、
上松町 (長野県)、本巣市 (岐阜県)、安芸太田町 (広島県)、菊陽町 (熊本県)

会員自治体数 314 (平成 28 年 3 月末日現在)

2 第 32 回総会の開催

平成 26 年度決算・事業報告、平成 27 年度予算・事業計画、平成 27 年度役員体制、総会決議文の議案を決議した。総会決議文は、日本政府 (内閣総理大臣・外務大臣)、在日大使館 165 か国をはじめ、国連事務総長・ジュネーブ軍縮部、朝鮮民主主義人民共和国、国連北朝鮮代表部大使に送付した。

日 時 平成 27 年 6 月 1 日 (月) 14 時 30 分～15 時 30 分

場 所 長崎原爆資料館ホール

出席者 61 自治体 74 人 (うち非会員 5 自治体 6 人)



第 32 回総会

3 役員会等の開催

会長 (1 人)・副会長 (5 人)・幹事 (18 人)・監事 (2 人) によって構成される役員会を年 2 回開催し、総会議題等の重要課題について協議を行っている。その第 1 回は総会と同日に実施した。

また、平成 26 年度収支決算について会計監査を実施した。

(1) 役員会

ア 第 1 回

日 時 平成 27 年 6 月 1 日 (月) 13 時 30 分～14 時 20 分

場 所 長崎市（長崎県）
出席者 21 役員都市 22 人

イ 第2回

日 時 平成 28 年 1 月 29 日（金）13 時 30 分～14 時 15 分
場 所 港区（東京都）
出席者 23 役員都市 25 人

（2）会計監査

日 時 平成 27 年 4 月 17 日（金）14 時 30 分～16 時
場 所 事務局（長崎市）
出席者 監事（八尾市・豊中市）、事務局（長崎市）

4 研修会の開催

（1）第1回

○講 演

日 時 平成 27 年 6 月 1 日（月）15 時 40 分～17 時
場 所 長崎原爆資料館ホール（長崎市）
出席者 84 人

内 容

①テーマ 「核兵器廃絶とパグウォッシュ会議」

講 師 鈴木 達治郎 長崎大学核兵器廃絶研究センター長

②テーマ 語り継ぐ家族の被爆体験

講 師 柿田 富美枝氏

内 容 母：笹田富子さん、谷口稜暉さん、故山口仙二さんの被爆体験

○フィールドワーク（被爆遺構の視察）

日 時 平成 27 年 6 月 2 日（火）

内 容 Aコース

原爆落下中心地、平和公園、城山小学校（被爆校舎等）

Bコース

浦上天主堂、旧長崎医科大学、山王神社（一本柱鳥居・クスノキ）

（2）第2回

日 時 平成 28 年 1 月 29 日（金）14 時 30～17 時
場 所 港区立男女平等参画センター リーブラホール
出席者 99 人

内 容

①自治体における平和事業の取組報告

発表自治体 港区 「港区の平和事業について」

北九州市「戦後 70 年・平和推進事業について」

②若者による平和活動の発表

発表者 ナガサキ・ユース代表団「平和学習プログラムの実践に向けて」

③被爆70周年事業 平和朗読劇

上演者 NPO法人 国際教育比較研究所

「今は春べと咲くやこの花」～長崎の被爆体験記より～

5 非核宣言実施状況の調査

国内の自治体の非核宣言実施状況を把握し、自治体による宣言実施の促進を図ることを目的として、宣言実施の有無等について調査を行った。

対象 非核・平和宣言をしていない201自治体

基準日 平成27年10月1日

結果 17自治体が宣言をしていることが新たに判明。

6 協議会未加入自治体への加入案内送付

協議会への加入を促進するため、協議会未加入の自治体に対して、平成27年9月に加入案内を送付した。また、一部未加入自治体首長等へ直接の加入要請を行った。

(1) 加入案内送付

自治体数 1,291（非核宣言自治体）

このうち、新たに非核宣言をしていることが判明した17自治体には、平成25年度に設立30周年記念準備事業として作成した本協議会の紹介DVDを同封のうえ加入案内を送付した。

(2) 会長による未加入自治体首長への加入要請

美濃加茂市（岐阜県）、日野町（滋賀県）、真庭市（岡山県）、東大和市（東京都）、水俣市（熊本県）

(3) 第5回平和首長会議国内加盟都市会議総会におけるパンフレット配布

7 核兵器廃絶に関する情報や資料の収集及び普及

自治体の平和行政推進にかかる参考資料の配布、平和事業に関する調査を行った。

(1) 平和発信ガイドブック「STEP」の配布

8月に長崎市で開催された「世界こども平和会議」に向けて、長崎市が育成する青少年ピースボランティアが中心となり、原爆被爆という「過去」、未だ核兵器が存在するという「現在」、そしてこれから歩む「未来」という時間の流れから平和を考えていくことができる冊子を会員自治体に参考資料として配布。

(2) 「長崎平和宣言」の配布

自治体数 1,787 (会員自治体 306 (長崎市を除く)、非会員自治体 1,481)

(3) 平成 27 年度平和事業調査

会員自治体を対象に各自治体が行っている平和事業の実績を収集し、協議会ホームページに掲載。

8 親子記者事業

会員自治体の小学生とその保護者 9 組を記者として募集し、被爆地の平和への取組みを全国へ広めるとともに、核兵器廃絶と平和の願いの継承を図った。

抽選で選ばれた親子は、長崎市で平和関連行事や被爆者等への取材を行った内容を記事にまとめ、親子記者新聞として発刊し、会員自治体等に配布した。終了後、参加者は在住自治体の首長表敬や学校の集会などでそれぞれ活動報告を行った。

開催日 平成 27 年 8 月 8 日 (土) ~ 11 日 (火)

開催場所 長崎市内 (プレスセンターを長崎市平和会館に設置)

応募者数 225 組

発行部数 1,500 部 (会員自治体ほか応募親子、取材先などに配布)



第 8 号おやこ記者新聞



田上会長と親子記者の皆さん

9 原爆展事業

(1) 巡回原爆展

平成 15 年度に本協議会設立 20 周年事業として、原爆写真展の貸出を開始した。写真パネルは各ブロック幹事で保管し、要望があった自治体に貸し出している。

平成 27 年度開催実績

開催数 14 自治体 (20 か所)

旭川市 (北海道)、名寄市 (北海道)、美里町 (宮城県)、神栖市 (茨城県)、
渋川市 (群馬県)、一宮町 (千葉県)、板橋区 (東京都)、神奈川県、
平塚市 (神奈川県)、新潟市 (新潟県)、南アルプス市 (山梨県)、
大口町 (愛知県)、武豊町 (愛知県)、廿日市市 (広島県)

入場者数 15,618 人 (入場者数の報告があった分のみ集計)

累積実績 (平成 19 年度以降)

開催数 延 129 自治体

入場者数 延 91,918 人

(2) ミニミニ原爆展

原爆写真資料を小スペースでも展示できるよう、平成 21 年度に資料内容やサイズを見直して作成した。海外での展示も見据え、平成 23 年度から 26 年度にかけて 11 か国語に翻訳し、日本語を含めて全 12 言語のポスターの配布を行ってきた。

平成 27 年度開催実績

開催数 35 自治体・団体（75 か所）

入場者数 60,625 人（入場者数の報告があった分のみ集計）

累積実績（平成 21 年度以降）

開催数 延 358 自治体・団体

入場者数 延 556,420 人

海外へのポスター配布実績

【英語版】

メトロポリタン大学、ジョンソン郡コミュニティ大学、ユニオン大学、カピオラニ・コミュニティ大学、リンデンウッド大学、アンティオーク大学（すべてアメリカ）

【スペイン語版】

在パラグアイ日本国大使館

(3) 平和首長会議原爆展

平和首長会議において、平成 24 年度に加盟都市が 5,000 都市を突破したことを記念して作成された原爆展ポスターを本協議会の会員自治体にも配布した。そのポスターを使用して、平成 27 年度も会員自治体において原爆展が開催された。

平成 27 年度開催実績

開催数 2 自治体（2 か所）

入場者数 12,000 人

累積実績（平成 24 年度以降）

開催数 延 154 自治体

入場者数 延 195,669 人

10 平和発信事業

(1) 被爆樹木の苗木配布

被爆アオギリ（広島）及び被爆クスノキ（長崎）の苗木を要望があった自治体に配布している。協議会設立 20 周年事業として、平成 14 年度から開始しており、平成 26 年度以降は平和首長会議を介しての配布も実施している。

平成 27 年度配布実績 (67 本)

・クスノキ (26 自治体 計 26 本)

会員自治体

一宮町 (千葉県)、川崎市、大和市 (神奈川県)、上越市 (新潟県)、
魚津市 (富山県)、扶桑町 (愛知県)、岸和田市 (大阪府)
羽曳野市 (大阪府)、丸亀市 (香川県)、長与町 (長崎県)
鹿児島市 (鹿児島県)

平和首長会議加盟自治体

那珂市 (茨城県)、新座市、和光市 (埼玉県)、
厚木市、座間市 (神奈川県)、燕市 (新潟県)、羽島市 (岐阜県)、
長久手市、一宮市 (愛知県)、稲美町 (兵庫県)、松江市 (島根県)、
安来市 (島根県)、倉敷市 (岡山県)、古賀市 (福岡県)
岡垣町 (福岡県)

・アオギリ (40 自治体 計 41 本)

会員自治体

多摩市、三鷹市 (東京都)、川崎市、平塚市、相模原市 (神奈川県)、
魚津市 (富山県)、富士市 (静岡県)、扶桑町 (愛知県)、
高槻市、羽曳野市 (大阪府)、世羅町 (広島県)、丸亀市 (香川県)
八女市 (福岡県) 2 本、長与町 (長崎県)、鹿児島市 (鹿児島県)
石垣市 (沖縄県)

平和首長会議加盟自治体

酒田市 (山形県)、安中市 (群馬県)、
川口市、蕨市、新座市、坂戸市、杉戸町 (埼玉県)、八千代市 (千葉県)
小平市 (東京都)、小田原市 (神奈川県)、安曇野市、池田町 (長野県)
高山市、羽島市 (岐阜県)、岩倉市、一宮市、長久手市 (愛知県)、
三田市 (兵庫県)、松江市、安来市 (島根県)、倉敷市 (岡山県)、
藍住町 (徳島県)、筑後市 (福岡県)、岡垣町 (福岡県)

累積配布実績 (平成 14 年度以降)

- ・クスノキ 延 89 自治体 166 本配布
- ・アオギリ 延 96 自治体 139 本配布

(2) 核実験等への抗議・要請

核実験が実施された場合等、本協議会として抗議文を関係先へ送付した。

平成 27 年度

- ①送付日 平成 27 年 4 月 7 日
- 相手国 ロシア
- 内 容 核兵器使用を想定した軍事演習に対する抗議
- 演習実施月 平成 27 年 3 月

- ②送付日 平成 28 年 1 月 7 日
相手国 北朝鮮
内 容 水爆実験実施に対する抗議
核実験実施日 平成 28 年 1 月 6 日

日本政府に対しても北朝鮮の水爆実験への対応について要請を行った。

(3) ホームページによる情報発信

協議会ホームページを運営し、協議会の各種事業、抗議文や要請文、各自治体の宣言文等の掲載を行っている。また、平成 25 年度に立ち上げたフェイスブックでも情報を発信した。

ホームページアドレス <http://www.nucfreejapan.com/>

フェイスブックアドレス <https://www.facebook.com/nucfree>

11 被爆 70 周年事業の実施

(1) 2015 年 N P T 再検討会議への派遣

核兵器の非人道性が議論される N P T 再検討会議に代表団を派遣し、被爆者の平和の願いを伝え、核兵器のない平和な世界を求める被爆国の自治体住民の声を届けた。

期 間 平成 27 年 4 月 25 日 (土) ~ 5 月 2 日 (土)

派遣場所 アメリカ・ニューヨーク市 国連本部ほか

派遣者 会長 (長崎市長 4/29~)、副会長 (藤沢市長)

主な活動内容 4 月 26 日 (日) 平和集会、平和行進

4 月 27 日 (月) N P T 再検討会議開会式傍聴

平和首長会議 2015 ヒロシマ・ナガサキピール集会

4 月 29 日 (水) 平和首長会議 2015 ニューヨーク集会

4 月 30 日 (木) 日韓モンゴル NGO ワークショップ

アダム・シャインマン米国特別代表との面会



平和行進



NGO ワークショップ

(2) 全国の若者と長崎の大学生との交流事業

パグウォッシュ会議の長崎開催にあわせて、全国から平和に関心をもつ若い世代を長崎に招いて、ヤングパグウォッシュ会議に参加した科学者や長崎大学核兵器廃絶研究センターの大学生との意見交換など、非核宣言自治体への理解を広げていくことを目的に交流事業を実施した。

期 間 平成27年10月31日(土)～11月2日(月)

人 数 9名

交流内容 10月31日(土) ヤングパグウォッシュ会議参加者との意見交換

「語り継ぐ」戦争・「語り合う」平和

11月1日(日) 被爆遺跡のフィールドワーク、被爆体験講話

長崎大学生等とのグループトーク

パグウォッシュ会議世界大会傍聴

11月2日(月) 参加者による「ピースプロモーション」



ヤングパグウォッシュ会議参加者
との意見交換



長崎大学生等とのグループトーク

(3) 平和朗読劇セットの作成

戦争体験を次世代へ伝える平和朗読劇のシナリオ等を作成して、会員自治体に配布する。

- ・長崎の被爆体験をもとにした平和朗読劇のシナリオを作成。
- ・長崎在住の大学生等により、実際に実演している朗読の様子を収録。

収録日時 平成27年11月28日(土) 13時30分～

協力(場所) 国立長崎死没者追悼平和祈念館

- ・収録したDVD、上演マニュアルを作成し、会員自治体に配布した。